

JISSE-10 での Tutorial セミナーのご案内

Thermoplastic Composites 熱可塑性コンポジット

熱可塑性コンポジットは、1990 年ごろに多数の材料メーカーが将来の成長を期待して開発を目指しましたが、その後の経済不況でその多くが挫折しました。

しかしながら、欧州や米国で長期にわたって開発を続けてきたメーカーや、新規の企業が、最近になって航空機部品や、特殊な産業用途に着実に需要を伸ばしています。

そこで今回の Tutorial セミナーは、米国の高機能性 Thermoplastic Composites の材料メーカー、Phoenixx TPC 社と、新しい高速成形プロセスを開発して注目されている、Fiber Forge 社、さらにオランダの代表的な航空機用コンポジット成形メーカーの Stork Fokker 社からの講師 3 名を招いて、最新の熱可塑性コンポジット材料の動向や、成形プロセスの技術動向、さらには用途開発の動向についての講演をして頂きます。

どうぞこの機会をお逃しにならぬ様に、皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

以上

記

日 時：2007 年 11 月 30 日（金） 9：20～12：20

場 所：東京ビッグサイト国際会議場 会議棟 6 階 610 号室

参加費：正会員・賛助会員：20,000 円、学生会員：10,000 円、非会員：30,000 円

参加費は申込時に「三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普通)1276101 先端材料技術協会」に振込料自己負担にてお振込戴くか当日受付にて受領致します。

申込法：添付の申込用ファックス用紙に所要事項をご記入の上、協会事務局宛に送信下さい。定員は 80 名ですので、ご確認は下記宛にお願いします。

Tel:0467-24-2721, Fax:0467-24-2735, E-mail:sampejp@fsinet.or.jp

【Tutorial：熱可塑性コンポジット Tutorial セミナーのテーマと講師】

A Continuous Thermoplastic Composites

“ Materials and Processing Technologies ”

長繊維強化熱可塑性コンポジット “ 材料と成形加工プロセス ”

Michael Buck, Vice President, Phoenixx TPC, Inc.

B “Rapid Processing of Carbon Fiber Reinforced Thermoplastic Advanced Composites for High Volume Production

量産を目指した、炭素繊維強化熱可塑性コンポジットの高速成形プロセス

Dr. Jon Fox-Rubin, President & CEO, Fiber Forge

C “Continuous Fiber Reinforced Thermoplastics and Aerospace Applications”

長繊維強化熱可塑性コンポジットと航空宇宙用途への応用

Arnt Offringa, Director R&D, Stork Fokker

なお本セミナーには、SAMPE Japan から飯塚 健治氏と寺西 伸秀氏が
コーディネータ役として、紹介と質疑応答のご協力を行います。

以上

先端材料技術協会宛 (Fax:0467-24-2735)

平成 19 年 月 日

JISSE-10 の Tutorial Seminar への参加を申し込みます。

ご所属先 : _____

ご連絡先 : _____
(Tel: _____ Fax: _____)

お名前 : _____

下記の項目に付き、該当箇所にチェックをお願いします。

- (1) 正会員・賛助会員、 学生会員、 非会員
- (2) 銀行振込、 当日現金支払

東京ビッグサイトへのアクセスは JISSE-10 Second Circular (協会のホームページ(<http://www.sampejapan.gr.jp>))にも掲載)をご参照下さい。

以上